

主要項目 SPACE スコアの評価例

SPACE の各項目を 0～10 点で評価し、その合計を SPACE スコアとします。

例えば、ある患者で

- S（睡眠）が十分に取れない：4 点未満
- P（身体活動）に障害がある：5 点以下
- A（食欲）が低下している：6 点以下
- C（認知・交流機能）が著しく低下している：4 点以下
- E（感情・意欲）が著しく低下している：3 点以下

と評価された場合、治療前の三焦-VFS は 22 点となります。

その後、三焦鍼法によって各機能が改善し、合計が 37 点に上昇した場合、生命機能全体が 22 点から 37 点へ拡大した と評価できます。

Sanjiao-Vital Function Score		
	治療前	治療後
S	4	8
P	5	7
A	6	9
C	4	7
E	3	6
	22	37

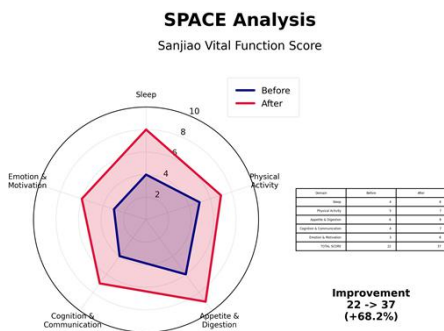
Vital Function Zone（生命機能ゾーン）の設定

SPACE スコアをレーダーチャートで表すと、生命機能の全体像を視覚的に把握できます。このレーダーチャートが描く領域を、私たちは「Vital Function Zone（生命機能ゾーン）」と呼びます。

- 面積が大きいほど生命機能は充実している
- 面積が小さいほど生命機能は低下している
- 面積の拡大は生命機能の回復を示す

つまり、SPACE スコアは生命機能を数値化した指標であり、Vital Function Zone はその広がりを可視化したものです。

これにより、三焦鍼法が生命活動全体にもたらす変化を、直感的かつ客観的に評価することが可能になります。この結果を SPACE レーダーチャートとして表現すると次のようになります。



これにより、三焦鍼法が生命活動全体に及ぼす影響を、直感的かつ客観的に評価することが可能になります。

臨床的意義

臨床現場では、SPACE スコアの改善に伴い、転倒の減少、メンタルヘルスの改善、尿失禁・便失禁の改善、ADL の向上、要介護度の改善などが認められます。

これらは生命機能の回復によってもたらされる重要な臨床アウトカムであり、患者本人や家族、介護・医療現場が実際に求めている成果でもあります。

今後は、SPACE による生命機能評価とあわせて、こうした臨床アウトカム自身を評価する指標についても、基礎的体系化を進めていく必要があると考えています。